

平和の塔

この戦争慰霊碑は、座間味村を見渡す高月山への坂を上って約 10 分のところに建っています。第二次世界大戦が終局を迎えようとしていた 1945 年 3 月 26 日、米軍が座間味に上陸しました。「平和の塔」という言葉が刻まれた石柱が、13 年後の 1958 年 3 月に建てられました。石壁の裏には、第二次世界大戦中に命を落とした 1,200 名の島民、民間人、軍人の名前が、1995 年に付け加えられました。ここでは五年に一度、座間味村の正式な慰霊の日、3 月 26 日に慰霊祭が催されます。

この慰霊碑は、モクマオウの木立の中に建っています。モクマオウは、沖縄で風よけとして通常使用されます。木立の左側には説明書きのある掲示板があり、興味深い座間味の戦前の白黒写真がいくつか貼られています。平和の塔から眺める座間味集落と海の風景は穏やかで平和の尊さを考えさせられます。